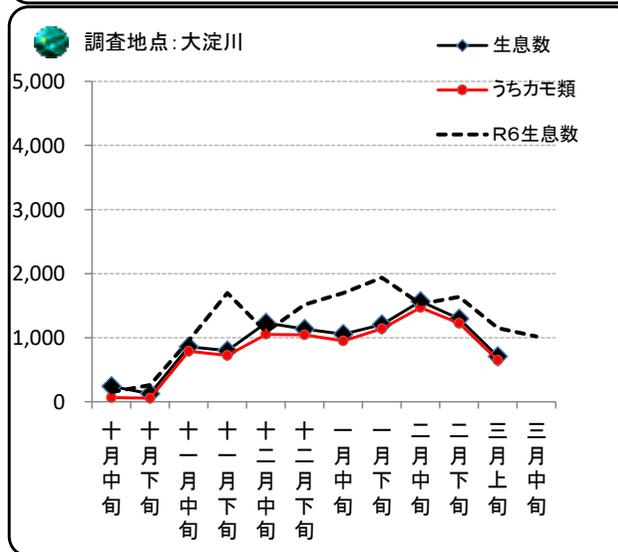
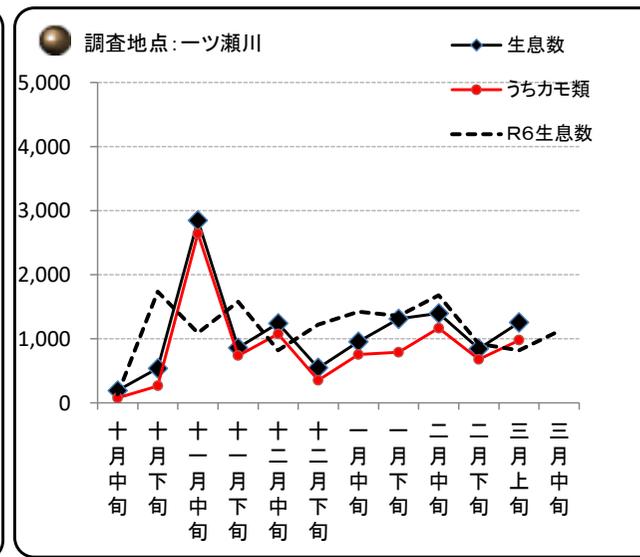
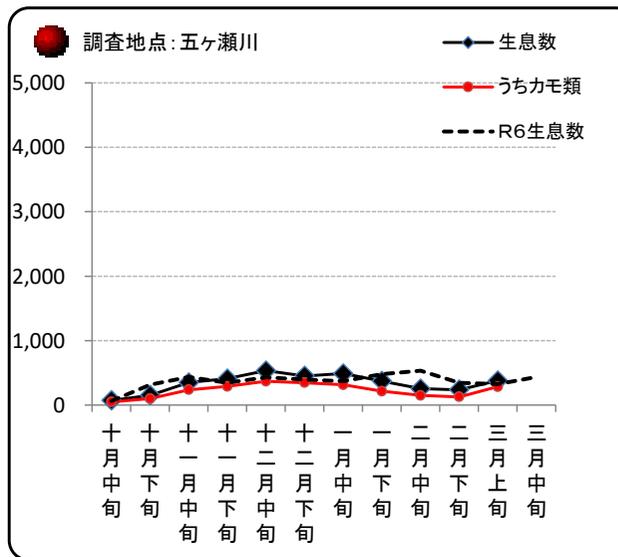


# 宮崎県内の野鳥生息状況調査



調査委託：日本野鳥の会宮崎県支部



## 令和7年度宮崎県野鳥生息状況調査

調査委託先：日本野鳥の会宮崎県支部

調査箇所	一ツ瀬川	巨田池	大淀川	五ヶ瀬川	合計
調査日	10/11/2025	10/10/2025	10/10/2025	10/10/2025	
生息（飛来）数	193	15	239	72	519
うちカモ類	77	4	65	48	194
うち猛禽類	29	0	5	1	35
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>カモの渡りは始まったばかりだが、コガモ、カルガモが多く、少ないながらもヒドリガモ、マガモ、オナガガモが見られた。</li> <li>猛禽類では、留鳥のトビの他、ミサゴ、チョウゲンボウ、ハヤブサなどが見られ始めた。</li> <li>アオサギは一ツ瀬川河口、大淀川で多く見られた。</li> <li>全体的にはほぼ昨年並みであるが、大淀川の飛来数が昨年より若干多い。その分、飛来数の合計も多くなっている。</li> </ul>				

調査箇所	一ツ瀬川	巨田池	大淀川	五ヶ瀬川	合計
調査日	10/24/2025	10/27/2025	10/24/2025	10/26/2025	
生息（飛来）数	538	52	126	152	868
うちカモ類	264	20	56	101	441
うち猛禽類	20	0	2	3	25
概要	<p>カモの数は前回調査の227%に増えたが、前年同期の26%であり、渡りが遅い。 調査種全体でも前年同期比36%であり、カモ類以外の冬鳥も渡りが遅い印象がある。 猛禽類は冬鳥として渡ってきた種は見られなかった。</p>				

調査箇所	一ツ瀬川	巨田池	大淀川	五ヶ瀬川	合計
調査日	11/14/2025	11/14/2025	11/14/2025	11/14/2025	
生息（飛来）数	2,847	76	860	350	4,133
うちカモ類	2,643	50	786	237	3,716
うち猛禽類	22	0	2	4	28
概要	<p>カモの飛来が増加し特にヒドリガモが多くなった。また、前回まで見られなかったカムムリカイツブリも確認された。11月になってカモの数は急激に増え、前年同期の165%である。 猛禽類は冬鳥として渡ってきた種はハイタカ、チョウゲンボウなどが見られた。 巨田池の下池は、まだハスの枯葉が全面を覆っていてカモの群れは飛来していない。</p>				

調査箇所	一ツ瀬川	巨田池	大淀川	五ヶ瀬川	合計
調査日	11/27/2025	11/28/2025	11/28/2025	11/28/2025	
生息（飛来）数	861	335	797	409	2,402
うちカモ類	736	316	722	291	2,065
うち猛禽類	13	1	1	14	29
概要	<p>カモの数が前回の56%に減少した。前年同期と比較しても57%と少ない。 前回、非常に増えていたヒドリガモが激減した。 検査優先種の羽数合計が前回の約半数になり、過去10年の同期では最も少ない。</p>				

調査箇所	一ツ瀬川	巨田池	大淀川	五ヶ瀬川	合計
調査日	12/14/2025	12/12/2025	12/12/2025	12/14/2025	
生息（飛来）数	1,240	370	1,231	535	3,376
うちカモ類	1,077	333	1,052	369	2,831
うち猛禽類	56	3	3	3	65
概要	<p>先月中旬に急に増えたカモの数が下旬に減少し、今回また増えてきて前年同期と同じくらいになった。 オオタカ、チュウヒ、ノスリ、チョウゲンボウなどの冬鳥の猛禽類が出現し始めた。 検査優先種の羽数合計がほぼ昨年並みになっている。</p>				

調査箇所	一ツ瀬川	巨田池	大淀川	五ヶ瀬川	合計
調査日	12/28/2025	12/26/2025	12/26/2025	12/27/2025	
生息（飛来）数	545	387	1,136	452	2,520
うちカモ類	352	362	1,043	347	2,104
うち猛禽類	29	1	3	2	35
概要	<p>全体的にカモの数が若干減少した（前回比74%）。前年同期比の58%である。 巨田池にトモエガモの群れが飛来している。 （綾川上流のダムでは約1,000羽近くのトモエガモの群れが観察されている） 検査優先種の羽数合計は前回より約800羽少なくなった。</p>				

調査箇所	一ツ瀬川	巨田池	大淀川	五ヶ瀬川	合計
調査日	1/17/2026	1/16/2026	1/18/2026	1/16/2026	
生息（飛来）数	956	198	1,053	491	2,698
うちカモ類	755	136	947	314	2,152
うち猛禽類	23	0	0	2	25
概要	カモをはじめとして飛来数が非常に少ない。4箇所の総数は前回からほとんど増えておらず、また前年の65%である。猛禽類はほとんどがトビで、それ以外は一ツ瀬川河口でミサゴとチュウヒがそれぞれ1羽だけである。				

調査箇所	一ツ瀬川	巨田池	大淀川	五ヶ瀬川	合計
調査日	1/29/2026	1/30/2026	1/30/2026	1/29/2026	
生息（飛来）数	1,310	213	1,207	372	3,102
うちカモ類	788	123	1,138	216	2,265
うち猛禽類	21	1	1	1	24
概要	カモをはじめとして飛来数が非常に少ない。これは4年毎の現象であるが理由は分からない。カモ類については、巨田池と五ヶ瀬川河口は前回より減少し、一ツ瀬川河口は前回並み大淀川は前回の120%と増えたが、4箇所の総数は前回からほとんど増えておらず、また前年同期比で65%である。 猛禽類はほとんどがトビで、それ以外はミサゴが観られる程度である。				

調査箇所	一ツ瀬川	巨田池	大淀川	五ヶ瀬川	合計
調査日	2/15/2026	2/16/2026	2/13/2026	2/13/2026	
生息（飛来）数	1,395	275	1,567	253	3,490
うちカモ類	1,167	214	1,469	151	3,001
うち猛禽類	8	1	3	2	14
概要	河川にマガモ・ヒドリガモが増えてきた。渡りを前に移動していることが推測される。 巨田池でアオサギの営巣・抱卵が始まった。 前回に比してカモ類の総数が増えてきたが、前年同期の2割減である。 五ヶ瀬川で初めてクロツラヘラサギが観察された。				

調査箇所	一ツ瀬川	巨田池	大淀川	五ヶ瀬川	合計
調査日	2/28/2026	2/26/2026	2/26/2026	2/26/2026	
生息（飛来）数	844	187	1,294	237	2,562
うちカモ類	678	135	1,224	127	2,164
うち猛禽類	23	2	1	2	28
概要	調査4地点全てでカモの数が減ってきた。 検査種の個体数は、検査優先種3が検査優先種1・2の約2倍である。 巨田池ではアオサギ・ダイサギが抱卵中である。アオサギの営巣が多い。				

調査箇所	一ツ瀬川	巨田池	大淀川	五ヶ瀬川	合計
調査日	3/9/2026	3/5/2026	3/6/2026	3/6/2026	
生息（飛来）数	1,253	268	707	381	2,609
うちカモ類	978	207	650	285	2,120
うち猛禽類	48	1	2	3	54
概要	カモの数は渡りの時期を迎えて減少し、ほぼ前年並みの数に減少してきた。 ヒドリガモ、カルガモ、マガモの移動が始まっており、各観察ポイントで増減が著しくなってきた。 猛禽類については冬鳥がほとんど見られなくなってきた。				

調査箇所	一ツ瀬川	巨田池	大淀川	五ヶ瀬川	合計
調査日	1/0/1900	1/0/1900	1/0/1900	1/0/1900	
生息（飛来）数	0	0	0	0	0
うちカモ類	0	0	0	0	0
うち猛禽類	0	0	0	0	0
概要					